

未来への遺産

熊本県

新しい熊本の玄関口を飾る
「くまもとアートポリス」



●熊本駅東口駅前広場
真夏の太陽と降り注ぐ雨を遮りながら爽やかな風が吹き抜けるぽかんと浮いた雲の下の公園にいるような空間が出現しました。設計者は今年建築界のノーベル賞と言われているプリツカー賞を受賞した西沢立衛氏。

平成二十三年三月十二日の九州新幹線全線開業に向けて、現在急ピッチで整備が進む熊本駅。その東西の駅前広場は「くまもとアートポリス」プロジェクトとして工事が着々と進められています。東口駅前広場の横では熊本駅交番の工事

も間もなく始まります。「くまもとアートポリス」は、熊本県下を舞台に豊かな自然や歴史、風土を生かしながら、後



●熊本南警察署熊本駅交番
地域に開かれ地元で愛される交番を目指してチャームな交番ができます。設計者はクライン・ダイサム・アーキテクツのアストリッド・クライン氏+マーク・ダイサム氏。

世に残り得る優れた建造物を造り質の高い生活環境を創造するとともに、世界への情報発信基地「熊本」を目指すことを目的として、一九八八年から始まりました。これまで四代の知事にわたり四半

世紀近く続いているこの取組みは、全国初の試みであり、熊本独自の個性的で魅力ある文化の香り高い生活空間の創造に大きく役立っています。これまでに、建築物や橋など七十施設が完成し「日本建築学会作品賞」や「土木学会田中賞」など数多くの賞を受賞しています。一九九三年には事業そのものの文化的意義と功績が評価され「日本建築学会文化賞」を受賞するなど、全



●新八代駅前モニュメント「きらり」
水平に広がる田園風景の中の大きなスケールの新幹線新八代駅。その駅前広場のための小さなモニュメント。設計者は乾久美子氏。

国的にも高い評価を受けています。また、行政、議会、マスコミなど建築専門以外の視察者も多く、海外からの視察者は、近年は県が対応しただけでも毎年五百人もの方々が熊本を訪れています。

県内各地に「くまもとアートポリスプロジェクト」が広がるとともに、熊本駅周辺でのプロジェクトの集積により、熊本城や阿蘇などと並ぶ魅力的な観光資源として注目が集まっています。

お問い合わせ

熊本県土木部建築課

TEL 〇九六―三三三―二五三七